

主な出来事 (2009年1~3月)

三重・愛知

全国・海外

1月

コナーカス

- ホンダ鈴鹿製作所は、自動車販売の低迷による減産に伴い、1,760人の期間従業員全員を段階的に雇い止めし、4月末までにゼロにする計画を発表。(1/16)
- 地域の歴史的風情などを生かしたまちづくりを支援する「歴史まちづくり法」に基づく第1回の認定に、亀山市の歴史的風致維持向上計画が選定。**(1/19)
- 中部経済産業局は、管内工作機械メーカー主要8社の2008年受注高が前年比▲16.2%の4,976億円と、6年ぶりに前年を下回ったと発表。(1/28)
- 東芝は、半導体需要の落ち込みを受け、2009年春に予定していた四日市工場のNAND型フラッシュメモリ新工場の着工を、2010年を目処に延期すると発表。(1/29)
- 2006年10月から掘削が行われていた、いなべ市と滋賀県東近江市を結ぶ、総延長4,157mの国道421号線「石樽トンネル」が貫通。(1/30)

- 日本自動車販売協会連合会の発表によると、2008年の新車販売台数(除く軽)は、前年比▲6.5%の321万2,342台と、1974年以来34年ぶりの低水準に。(1/5)
- 中国国家统计局は、2008年10-12月期の実質GDP成長率(速報値)が前年比+6.8%となり、2008年通期でも同+9.0%と6年ぶりの1桁台になったと発表。(1/22)
- ソニーが2009年3月期の業績予想を修正し、14年ぶりの営業赤字見込みと発表。国内テレビ生産を1工場に集約し、本社社員を対象とする希望退職も実施。(1/22)
- 損害保険大手の三井住友海上グループホールディングス、あいおい損害保険、ニッセイ同和損害保険の3社が、2010年4月に経営統合することを発表。(1/23)
- 内閣府は、2002年2月からの景気回復局面の「山」が2007年10月で、翌11月から後退局面に入ったと判定。戦後最長となった景気は5年9ヵ月で終了。(1/30)

2月

- 三重大学は、アジア・アフリカ諸国での植樹など環境活動での功績を讃え、イオン名誉会長相談役の岡田卓也氏に同大学で第1号となる名誉博士号を授与。(2/2)
- 紀勢自動車道・大宮大台インターチェンジ(IC)ー紀勢大内山IC間の10.4kmが開通。熊野古道をはじめとする東紀州地域への交通アクセス向上に寄与。(2/7)
- 三重県が2009年度当初予算案を発表。一般会計は総額6,840億円で、県税収入の落ち込みを背景に、借換債を除く実質ベースでは9年連続のマイナスに。(2/13)
- 厳しい経済・雇用情勢を踏まえ、官民トップが三重県内の現況把握や効果的対策の検討などを行う「三重県経済危機対策会議」が発足し、初会合が開催。(2/19)
- J.フロントリテイリングは、名古屋市内に本店を置く傘下百貨店の松坂屋を大丸(大阪市)と合併させ、2010年3月に百貨店事業を1社に統合する計画を発表。(2/26)

- パナソニックは、全世界で生産拠点を2割閉鎖し、1万5,000人規模の人員を削減・配置転換するリストラ計画を発表。(2/4)
- パイオニアは、採算の改善が見込めないことなどから、薄型テレビ事業から全面撤退することを発表。販売は2010年3月までに終了へ。(2/12)
- オバマ米大統領は、向こう2年間で350万人の雇用創出を目指す、総額約7,870億ドルの景気対策法案に署名し、同法が成立。(2/17)
- 米アカデミー賞で、滝田洋二郎監督の「おくりびと」が外国語映画賞を、加藤久仁生監督の「つみきのいえ」が短編アニメーション賞をそれぞれ受賞。(2/22)
- 米金融大手のシティグループは、政府が保有する優先株の一部を普通株に転換すると発表。米政府はシティ株の最大36%を保有し、事実上の公的管理へ。(2/27)

3月

- 名古屋市内の主要百貨店4社が2008年度の売上高(速報値)を発表。4社合計で前年比▲5.5%の3,776億円と、3年連続の減少に。(3/3)
- 三重県と三重大学は、2014年度の開館を目指している新県立博物館での有効な文化資産の活用方法などを共同で検討するため、連携協定を締結。(3/16)
- 三重県が2007年度の県民経済計算(速報)を発表。実質県内総生産は9兆5,097億円となり、実質成長率は前年度比+2.6%と、6年連続のプラス成長。(3/18)
- 三重県内で3局目となる鈴鹿市のコミュニティFM局「Suzuka Voice FM」が開局し、鈴鹿市全域と四日市市の一部などを放送エリアに、本放送を開始。(3/20)
- 国土交通省が発表した地価公示によると、2009年1月1日時点の三重県の地価は、住宅地で前年比▲2.0%、商業地で同▲2.6%と、ともに17年連続で下落。(3/23)

- 日経平均株価が2008年10月27日に付けたバブル経済崩壊後の最安値(7,162円90銭)を2日連続で更新。終値は7,054円98銭に。(3/10)
- 金融庁は新しい金融機能強化法に基づき、北洋(北海道)・福邦(福井)・南日本(鹿児島)の第2地銀3行に合計1,210億円の公的資金を注入することを決定。(3/13)
- 損害保険大手の損害保険ジャパンと日本興亜損害保険は、共同で持ち株会社を設立し、2010年4月に経営統合することを発表。(3/23)
- 米財務省は、政府と民間の投資家が共同で金融機関の不良資産を買い取る基金を設立することを発表。買取総額は最大で1兆ドルに上る見込み。(3/23)
- 野球の世界一を競う第2回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)の決勝戦が行われ、日本が延長の末に韓国を下し、2連覇を達成。(3/23)

コナーカス 国の「歴史まちづくり法」第1回認定に亀山市の計画が選定

1月19日、国土交通省・文化庁・農林水産省の3省庁は、地域における歴史的な風情や情緒を生かしたまちづくりを国が支援する「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(通称:歴史まちづくり法)」に伴う第1回の認定に、亀山市の歴史的風致維持向上計画を選定しました。亀山市は同計画に基づき、関宿を中心とした東海道沿道約500haのエリアを重点区域と位置付け、2008年度からの10年間で、旧商家の修復や観光交流施設の整備などを進めていく方針です。なお、全国では、亀山市とともに金沢・高山・彦根・萩の4市の計画が選定されています。